# 平成30年度 新規事業候補箇所の選定について





新規事業候補箇所の検討



2月28日

都道府県知事等へ意見照会・公表



3月13日

社整審 道路分科会九州地方小委員会



社整審 道路分科会 事業評価部会(本省)



(政府予算案の審議)



予算成立時

実施計画で決定

## 平成30年度 新規事業候補箇所の選定の考え方 【高規格幹線道路】



九州地方整備局

高規格幹線道路のうち、未事業化区間の中から計画確定済み、都市計画決定、環境影響評価実施済み等事業実施環境が整った区間を選定

#### 〇高規格幹線道路未事業化区間

県名	路線名(区間)	都市計画 計画段階評価 ➡ 環境影響評価		
宮崎	九州横断自動車道延岡線 (五ヶ瀬~高千穂) ⇒『五ヶ瀬高千穂道路』	計画段階評価完了済		
熊本宮崎	九州横断自動車道延岡線 (矢部~蔵田) 【矢部~蘇陽、蘇陽~五ヶ瀬、 高千穂~末市、日之影~蔵田】	調 査 中 一部 計画段階評価完了済 ※1		
宮崎鹿児島	東九州自動車道 (油津~夏井)	都市計画完了済 ※2 (H28.1.15)		

- ※1:蘇陽~五ヶ瀬・高千穂~末市は、計画段階評価完了済
  - →重要な植物の生息状況等の調査が必要 重要な施設等への影響検討が必要
- ※2:構造物連続区間となるため、調査・設計・コスト縮減の検討が必要





一般国道218号(九州横断自動車道延岡線)五ヶ瀬高千穂道路 を<u>H30年度新規事業候補箇所に選定</u>

### 平成30年度 新規事業候補箇所の選定の考え方【高規格幹線道路以外】 坐



#### 九州地方整備局

#### 【対策未実施区間(新規事業候補対象区間)の抽出】

#### 1.九州の直轄国道全線(約2,300km)

OH27一般交通量調査実施区間

【1.578区間】

#### 2.改築事業等実施中以外の区間(新規事業候補区間抽出)

○改築事業等の実施中区間及び並行する現道区間を除外

【803区間】

#### 3.課題抽出の視点

①渋滞:主要渋滞箇所※1を有する区間 等

(228区間)

②事故:事故危険区間※2を有する区間 等

(564区間)

③災害:異常気象時通行規制区間又は大規模災害の発生区間 等

(28区間)

🗕 交通状況等(交通量や混雑度等) を考慮

#### 4.事業実施環境等の確認

○上記区間の中で、事業効果の緊急性が高く、計画確定済み、都市計 画決定済み、環境影響評価実施済み等、事業実施環境が整った箇 所について、予算状況等を踏まえ、総合的な観点から選定

#### H30 新規事業候補箇所の選定結果

一般国道3号 岡垣バイパス

【事故危険区間を有する区間】

一般国道34号 大村諫早拡幅

【主要渋滞筒所を有する区間】 【事故危険区間を有する区間】

課題	指標		判定	
① 渋 滞	主要渋滞箇所	主要渋滞箇所を 有する区間	主要渋滞箇所 に該当	主要渋滞箇所 資料(H29) ※H29.10一部 解除
② 事 故	事故危険区間	事故危険区間を 有する区間	事故危険区間に該当	事故危険区間 資料(H29)
③ 災害	異常気象時通 行規制区間 または 大規模災害の 発生区間	異常気象時に通 行が規制される 区間 または、 48時間以上の全 線通行止めを引 き起こした大災 害の発生区間	規制区間に該当 または、 発生区間に該当	事前通行規制 区間及び被災 データ (H24~H28)

※1 主要渋滞箇所:速度データ(プローブデータ)等や道路利用者等の意見を

踏まえて、各県渋滞対策協議会で選定した箇所

※2 事故危険区間:事故データや地域の声等を踏まえて、各県道路交通環境 安全推進連絡会議等で選定した区間